

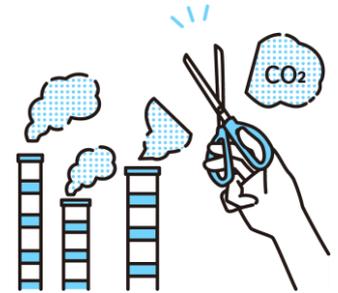
ICN・世界銀行共催「競争アドボカシーコンテスト」での優勝について

- ICN(世界140超の競争当局が加盟する国際フォーラム)は、世界銀行との共催で、各国から競争アドボカシーの事例を募集し、優良事例を選定する「競争アドボカシーコンテスト」を毎年開催
- 今年の募集テーマの1つは「競争政策を通じた気候変動課題の解決支援」であり、公取委の応募事例「包括的な競争政策上の取組を通じたGX支援」が**優勝**に選定
- ICN・世界銀行は、公取委が、事業者のGXを促進する観点から、**ガイドラインの策定、事前相談対応の拡充、実態調査の実施を含む多面的なアプローチ**をとっていることを評価

公取委の応募内容

包括的な競争政策上の取組を通じたGX支援

- 気候変動問題に関し、公取委は、多様なアドボカシーツールによるGXへの貢献を企図
- ① **グリーンガイドライン**…同ガイドラインの策定により、事業者等のグリーンの取組に対する法適用に係る透明性及び予見可能性を向上させ、事業者等の取組を後押し(chilling effect(萎縮効果)の軽減)
- ② **グリーンの取組への相談対応**…事業者等のグリーンの取組について、専用の相談窓口を設置し、事前相談対応を拡充。また、関連する相談事例を公表
- ③ **グリーン関連市場における実態調査**…(i)高速道路上のEV充電サービス実態調査及び(ii)使用済みペットボトルのリサイクルに係る取引に関する実態調査を実施。独占禁止法及び競争政策は、事業者間の競争を促進することで資源の効率的な利用を促し、新たな技術等のイノベーションを引き起こす観点から、グリーン社会の実現に間接的に貢献するものであるとの考え方を提示



ICN・世界銀行の評価

- GXの取組に競争を維持するための先んじた対応を示すものとして、公取委は、競争法のコンプライアンスを促進し、事業者の予見可能性を高めるため、ガイドラインを策定。また、GXの取組について、専用窓口を設置し、関連する相談事例を公表することにより、事前相談対応を拡充。さらに、グリーン経済を実現するために重要な市場であるEV充電サービス市場とペットボトル・リサイクル市場について、実態調査を実施
- このようなガイドライン、事前相談、実態調査を含む**多面的なアプローチ(multi-pronged approach)**は、法的安定性及び効果的な競争を確保しつつ、気候変動問題に対処するとの公取委のコミットメントを示すもの